

會社トシテハ之以外ノ方法ナキモ一応考慮ノ上回答スベシ  
等ノ回答アリテ散會セリ

公堂過

會社ニ於テハ態度強硬ニシテ急案ヲ撤回スルノ模様ナリ職工  
側ハ直ニ罷業ニ移ラフトスル主張者相當アリタルモ態本湯藏  
ヨリ會社ノ回答アル迄暫ク待テ様指導セル為メ罷業ヲ  
中止シタルモ十二日以來工場全般ニ亘リ急業状態ニ移シリ  
大將來ノ予想

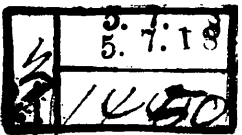
會社ハ職工側ニ対シテ到底満足ナル回答ヲ與フルコト困難ト認  
メラル、ヲ以テ將來相當延引惡化スルモノ愚料セラル  
右及申(通)報候也

勞社第二二五八號

昭和五年七月十六日

警視總監

丸山 鶴



内務大臣安達謙藏殿  
社會局長吉田茂殿  
京都府村田三各府縣知事殿

東京亞鉛液金株式會社ノ勞働爭議ニ關スル件 (第二報)

要旨 十三日工場長ハ従業員代表ヲ招キ交渉ヲ進メタルモ何等進展マルコトナシ  
十七日會社ノ意向ヲ更メテ回答スルコトセリ

標記爭議其ノ後ノ状況左記ノ通り

記